

授業科目名・形態	韓国語	演習	必修・選択の別	選択
担当者氏名	申 均三	開講期	1~2 年前期・後期	単位数 2

### 【授業の主題】

韓国語は、文法が似通っていたり、漢字語と固有語から成り立っているため、日本語を母語とする者にとって比較的学びやすい言語である。アルファベットをすべて覚えても英単語を正確に発音できるわけではないが、ハングルをすべて習得すれば、ほぼ正しい発音が可能だ。それは、アルファベットにはひとつの文字に対して複数の発音があり、組み合わせによってさまざまに変化するからだが、ハングルには基本的にそれがない。その点極めてシステムティックだといえる。

例外の少なさは覚えやすさに繋がるはずだが、必ずしもそうではない。例外が少ない分だけ覚える量が多いからだ。したがって、当初乗り越えるべき少し高いハードルをいかにクリアするかが、肝心である。

### 【到達目標】

前期は、ハングルの基礎知識を正確、かつ着実に習得することを目指し、後期では会話、読解など応用を身に着け、通年では韓国の初等学校低学年程度の理解力を目標とする。

### 【授業計画・内容】

前期	後期
第1回 ガイダンス・韓国語概説	第16回 第3章 基礎会話 ①
第2回 第1章 ハングルの基礎 ①	第17回 第3章 基礎会話 ②
第3回 第1章 ハングルの基礎 ②	第18回 第3章 基礎会話 ③
第4回 第1章 ハングルの基礎 ③	第19回 第3章 基礎会話 ④
第5回 第1章 ハングルの基礎 ④	第20回 第3章 基礎会話 ⑤
第6回 第1章 ハングルの基礎 ⑤	第21回 第3章 基礎会話 ⑥
第7回 第1章 ハングルの基礎 ⑥	第22回 第4章 読解 ①
第8回 第1章 ハングルの基礎 ⑦	第23回 第4章 読解 ②
第9回 第2章 文法上の基礎知識 ①	第24回 第4章 読解 ③
第10回 第2章 文法上の基礎知識 ②	第25回 第4章 読解 ④
第11回 第2章 文法上の基礎知識 ③	第26回 第4章 読解 ⑤
第12回 第2章 文法上の基礎知識 ④	第27回 第4章 読解 ⑥
第13回 第2章 文法上の基礎知識 ⑤	第28回 第5章 総合学習 ①
第14回 第2章 文法上の基礎知識 ⑥	第29回 第5章 総合学習 ②
第15回 まとめ	第30回 まとめ

### 【授業実施方法】

講義

### 【授業準備】

教科書の内容に沿ったワークシートを配布するので、授業の前後に独習しておくこと。

### 【主な関連する科目】

### 【教科書等】

金 順玉・阪東千津子 著『最新チャレンジ!韓国語』(白水社)

### 【参考文献】

野間秀樹 著『ハングルの誕生』(平凡社新書)

Bruce Cumings 著『Korea's Place in the Sun:A Modern History』(『現代挑戦の歴史』明石書店)

### 【成績評価方法】

定期試験により評価するが、レポートの提出を求めることがある。

### 【学生へのメッセージ】

語学学習のポイントは根気と反復だといって過言ではない。他言語を習得するためには、その言語が使用されてきた地域の歴史、文化、政治、経済などへの幅広い知識が求められる。